

フラワーデザイン専攻実習風景《2月》

◎2年生がユリ球根の植え付けを行いました。



↑約4ヶ月間、球根を冷蔵して芽出しをします
(冷蔵中の球根のようす)。



↑芽出し後の球根
(白く伸びているのが芽です)



↑畝に深さ約15cmの穴をあけ、
芽を傷つけないように植えます。



↑植え付け後は乾燥を防ぐため、もみ殻
を掛けます(本校作物専攻が栽培した稲
からのもみ殻です)。



今回は全8品種、計180球ほどのユリ(球根)
を植えました。

販売は6月中旬から始まる予定です。

←地上まで伸びてきたユリの芽

◎外部講師をお招きし、フラワーアレンジメントの作製技術を学びました。

2年生が「トピアリー」の作り方を学びました。



↑作製したトピアリー



←作製中のようす

バランスの良い球形になるように考えながら吸水性スポンジに花材を生けます(鉢にはキンバイカの葉を生け、柱となる棒はワタの枝を使用しました)。



←今回使用した花材はスイートピーです。茎が柔らかいため、ワイヤーで補強してから生けました。



今年度、数回にわたり外部講師の方からさまざまなプロの技を教わりました。

この学びを活かし、今後も皆さまにフラワーアレンジメントの魅力をお伝えできるよう励んでいきます。

完成した生徒の作品